

平成29年度第3回光市教育振興基本計画策定懇話会 会議録

1 開催日時

平成30年2月2日（金）午前10時00分～午前11時45分

2 開催場所

光市教育委員会1階ホール

3 出席者

(1) 構成員

光市教育開発研究所	主任研究員	村上 博（会長）
室積小学校	校長	古谷 友伯
大和中学校学校運営協議会	会長	宮尾 智義
島田小学校学校運営協議会	会長	山本 俊男
光市文化協会	事務局長	川津 勝徳
光市スポーツ推進委員協議会	会長	林 徳人
光市食生活改善推進協議会	会長	天野 加代子（副会長）
公募委員		福島 雅美子
公募委員		魚谷 美穂

(欠席者)

光井中学校	校長	吉本 そのみ
聖光幼稚園	園長	細田 直子
光市小中学校PTA連合会	会長	岩崎 英二

(2) 事務局

能美教育長、蔵下教育部長、太田教育総務課長、影土井教育総務課経理係長、清水経理係員、櫻井経理係員

(3) 関係者

ア 教育委員会事務局

奥屋学校教育課主幹、村崎体育課長、穂山図書館長、清水学校給食センター所長、村上文化・社会教育課文化振興係長、山門文化・社会教育課社会教育係長、永光教育企画担当（学校教育課）

イ 市民部

縄田地域づくり推進課長

ウ 福祉保健部

西村子ども家庭課長、柏木健康増進課長

4 次 第

開 会

(1) 教育長あいさつ

(2) 議 題

1. 光市教育振興基本計画（案）に対するパブリックコメントの実施結果について
2. 光市教育振興基本計画（案）について

(3) その他

閉 会

5 議事録（要旨）

(1) 教育長あいさつ

前回の会議では、計画の骨子に施策の展開を加え、現状と課題を整理したうえで基本施策の方針や具体的施策についてご意見等をいただいた。これまでの議論を踏まえ、事務局から最終的な計画案をお示しさせていただくとともに、1月19日まで実施したパブリックコメントの結果についてもご報告させていただきたい。本日の最終的なご協議の後、議会報告、教育委員会会議などの手順を経て計画が確定され、光市教育大綱に示す教育目標、あるいは基本目標達成に向け、本計画に沿って教育施策を総合的かつ着実に展開していくことになる。本日の最終案についてもご忌憚のないご意見、ご提言をお願いしたい。

(2) 議 題

ア 光市教育振興基本計画（案）に対するパブリックコメントの実施結果について

(ア) 説 明

事務局より、資料に沿って説明。

(イ) 意見等

【委 員】

NIEについて、光市ではどのように取り組まれているか。

【事務局】

新聞の記事やデータについて、社説を書写することや文章の組立の方法や論の展開の方法を学ぶ「調べ学習」の資料として用いるとともに、新聞記事の内容に対して考えを深めたり発表し合うなど、授業の中で広く活用している。

【委 員】

小学校では難しいが、新聞各社で論調が違うので、中学校のレベルだと2つの新聞の意見に対して自らの考えを深めるために活用するのも面白いと思う。

【委 員】

中学校や高校で、主権者教育を新聞などでとりあげて子どもたちが勉強することもある。小学校中学年にもなると、新聞に掲載される桜暦を見ながら、日本の気候の特色を勉強することもある。新しい学習指導要領にも「学習の基盤となる資質・能力」として情報活用能力の育成が必要と示されているので、各学校でこうした取組みが進むことを期待している。

イ 光市教育振興基本計画（案）について

（ア）説明

事務局（影土井教育総務課経理係長）より、資料に沿って説明。

（イ）意見等

【委員】

スポーツの観点から、屋外で遊ぶ機会が減っていることを危惧している。「健やかな体」の育成の項で「体育的教育活動の推進、健康教育や食育等、自らの健康を自ら守り、自らを鍛えようとする態度を養う」と記載されているので、これを実行すれば心配ないと思う。

【事務局】

先日の光市駅伝競走大会をはじめ、スポーツ少年団等を活用し、より多くの子どもたち、市民の皆様と一緒にスポーツができる機会を提供していく。光市の自然等を活用したスポーツができる機会を充実させていきたい。

【委員】

73 ページからの用語解説が分かりやすく良かった。

【委員】

21 ページの主な指標で、体力の合計点の平均点が示されているが、全国的な水準が分からないので、光市の子どもたちの状況がわかりづらい。

16 ページの「イングリッシュキャンプ光」の開催について、英語の体験型ワークショップは、これから増やしていただくと英語が身に付くので良いと思う。

【事務局】

21 ページの全国体力運動能力、習慣等調査における体力合計点の平均点について、全国平均値も記載することも検討していきたい

イングリッシュキャンプは、子どもたちには朝から英語漬けの1日となった。いろいろなゲームや課題型のアクティビティを楽しむとともに、ピザの材料をもらうところから食べるまで英語で過ごした。来年度もこのような取組みを進めていきたい。

【委員】

29 ページの家庭教育支援チームの現状について、平成 29 年度は島田小学校でモデル事業として取り組んでいる。平成 29 年度の近況値は1チームとされるのか。

また、51 ページの通学路の安全点検に関連して、最近車は歩道に入って子どもたちが巻き込まれる事故が本当に多い。交通安全の充実を真剣に考えなければならない。

安全教育という面では、各学校で災害が起きた時のマニュアルはできていると思うが、土日休みに災害が起きた時にどうするのか、今後取り組んでいかなければならない。

コミュニティ・スクールの小中一貫教育について、昨年12月には、島田中学校区の4小学校の児童と中学校の生徒が集まって「島田川サミット」を開催し、子どもたちが今後のコミュニティ・スクールや地域との連携について話し合った。大きな3つの目標が掲げられ、中学校と小学校の連携の大きな取組みとして展開されている。

【事務局】

通学路の整備については、ガードレールの整備、歩道の整備、横断歩道の待避所になるスペースの確保、危険動物の対処など、多くのご意見をいただいている。子どもたちの安全確保のために早く安全な通学路を確保したいと考えている。

防災訓練については、小学校、中学校、地域の方々が一緒に取り組んでいるところが多くなってきた。地域の方と一緒に防災訓練を行うことで、学校が休みの時や学校の帰りに災害が起きた時に、子どもたちが自分の命を自分で守る意識、また大きな子どもは自分だけでなく他の方にも目を向ける意識が育ってきていると考えている。

コミュニティ・スクールについては、それぞれの地域の特性を活かした素晴らしい取組みをされている。コミュニティ・スクールに関する研修会等で紹介された取組みについて、良いものは自分の地域でも取り組んでいる。こうした機会を利用して、より一層地域ぐるみで子どもを育てる教育を進めていきたい。

【事務局】

家庭教育支援チームの設置の件で、近況値はモデル事業ということで0チームとし、目標値は中学校区に1チームは創っていくということで5チームとしている。

【委員】

「事業ピックアップ」として実際に行っている内容等が写真入りで載っており、非常に分かりやすい。

今回進められている光市教育振興基本計画と「光市立学校の将来の在り方に係る基本構想」は、車でいえば両輪だと捉えている。光市の学校教育がソフト面・ハード面でどういう方向で全体が望まれているのか、全体像が分からないと、地域だけで検討していくのでは時代に合った考え方が難しい。こういった基本計画ができることで、何を目指しているかがよく分かるので、そうしたことも踏まえながら、地域で検討する場面も出ると思う。

【事務局】

学校の将来の在り方に係る基本構想を若干説明させていただくと、平成 32 年度から現在の施設を活用しながら小中一貫教育を進めていくが、小中一貫教育を効率的に進めるには施設一体型の学校が望ましいという考えもあるので、将来的には各中学校区単位に一枚ずつの小中一体型の学校の新設を目指す考えである。まだ最終的なものではないが、教育委員会としては、適正規模、適正配置や将来の少子化の問題等を勘案し、何が子どもたちにとって一番望ましい教育であるかを考えながら構想案をまとめている。

【委員】

イングリッシュキャンプなどの体験活動について、どういった方法で参加者を募集されているか。

また、コミュニティ・スクールに夫も参加しているが、子どもたちの姿や個性を見られて勉強になっている。昔は子どもも多く、教科ごとに先生がおられたが、今は専門教科以外を担当されている先生もおられ、ご苦労が多いと思うが、頑張ってください。

【事務局】

イングリッシュキャンプについては、チラシを作成し、各校に直接配布するとともに、市のホームページ等も活用して参加者を募集し、多くの方々に関心をいただいた。

【委員】

すっきりして読みやすい文章になっている印象がある。最後に用語解説があり素晴らしいと思う。用語解説が載っている印があればさらに良い。

16 ページで「外国語教育」「英語教育」と 2 種類出るので、使い分けを工夫した方がわかりやすいと思う。

21 ページの近況値について、他の委員からもあったが、全国平均を入れないと光市の子どもたちが全国的にどの水準なのか分からない。

数値に関して、例えば 27 ページの子育てに関する指標について、子どもの数が減少している状況は理解できるが、近況値より目標値が低いのは如何なものか。

最後に、現実的に厳しいことは分かっているが、エアコン等の設置をはじめ、子どもたちの教育環境の充実についてもお願いしたい。

【委員】

指標の目標値について、総合計画や既存の計画で目標値を定めているものが何箇所もあり、近況値が思った以上に良くて目標値を超えた指標もある。総合計画を所管する企画係とも調整し、その目標値については本計画においても据え置くこととした。ただし、目標値以上の近況値があれば、さらに上を目指していくのは当然と考えている。

【委員】

指標における数値の示し方についてはご検討いただきたい。

【委員】

製本できたら、どのような関係者に配布されるのか。

【事務局】

平成 30 年度に計画書を製本し、委員の皆様、関係する学校、コミュニティ・スクールや社会教育団体、その他いろいろ関連する方にお送りさせていただく。皆様とともにこの計画を進めていけるように、教育委員会として進行管理していきたい。

【事務局】

本日の第3回の懇話会をもって終了とさせていただく。村上会長をはじめ委員の皆様方には、計画の策定にあたり貴重なご意見ご提言をいただき心より感謝したい。

この度いただいたご意見等を計画に反映させた後、計画の最終案として3月議会の常任委員会にて報告するなど諸手続きを進めてまいりたい。また、先程委員からあったように、計画が確定した後、計画書を製本し、委員の皆様方に配布させていただきたい。

(3) その他

なし

午前11時45分終了